

## 「正しいことを見極めて正しい判断を！」

新型コロナウイルス感染症が、依然として終息のめどが立たない状態です。コロナウイルス感染症については、いろいろな噂が飛び交いました。どこの会社の方が感染したとか、どこの職場の方がPCR検査を受けたとか、……。しかし、それはすべて未確認の情報でしかありませんでした。果たして、その情報の正確さを突き止めることが大切でしょうか、必要以上に個人情報に立ち入ることに問題はないでしょうか。

ここで、正確な情報だとしても考えなければならないことがあります。この情報を他の人に発信するのがよいのかどうかです。いたずらに世間の人々を不安に陥れるものは発信するべきではないと判断しなければなりません。

私たちがまずしなければならないのは、自分が感染しないようにどのように対策していくかということです。また、感染してしまった方の人権をどのようにして守るかということです。憎むべきは新型コロナウイルス感染症であって、感染してしまった方ではありません。このことをしっかりと考えておくべきです。かかってしまった方を、私たちは守っていかねばなりません。

今はネット社会で、あらゆる情報が瞬時に入ってきます。そして、ネットで検索して出てくる情報は、膨大です。書き込み情報は、検索数の多いものから順に出てきます。正しいものが先に出てくるわけではありません。西条市の小・中学校では、全員がタブレットを持って学習を進めています。毎回使用するわけではありませんが、子どもたちはタブレットを使って調べ物をしたり、友達と情報を共有したりしています。そして、得られた情報をもとに友達と情報を交換し合って、何が正しいかを見極めていくのです。



指導者は、正しい判断ができているかどうかをチェックして授業を進めています。子どもたちは、タブレットを大人よりも早く使いこなすようになります。ですから、情報は簡単に手に入れることができるようになります。その情報をどのように生かしていくかは、しっかりと大人が伝えていく必要があります。

子どもたちの喧嘩の原因を聴いていると、間に入った友達の言葉を信じ込んでしまってトラブルになるということがあります。指導者立ち合いで本人同士が直接話をすると、誤解が解けて納得できるものがほとんどです。子どもたちには、相手に直接確かめること

の大切さを伝えます。その時には、お互いが信頼できる友達や大人に同席してもらうことをアドバイスします。私たちは子どもたちに信頼してもらえたい大人になりたいものです。そのために、正しい人権感覚をさらに磨いていきましょう。

